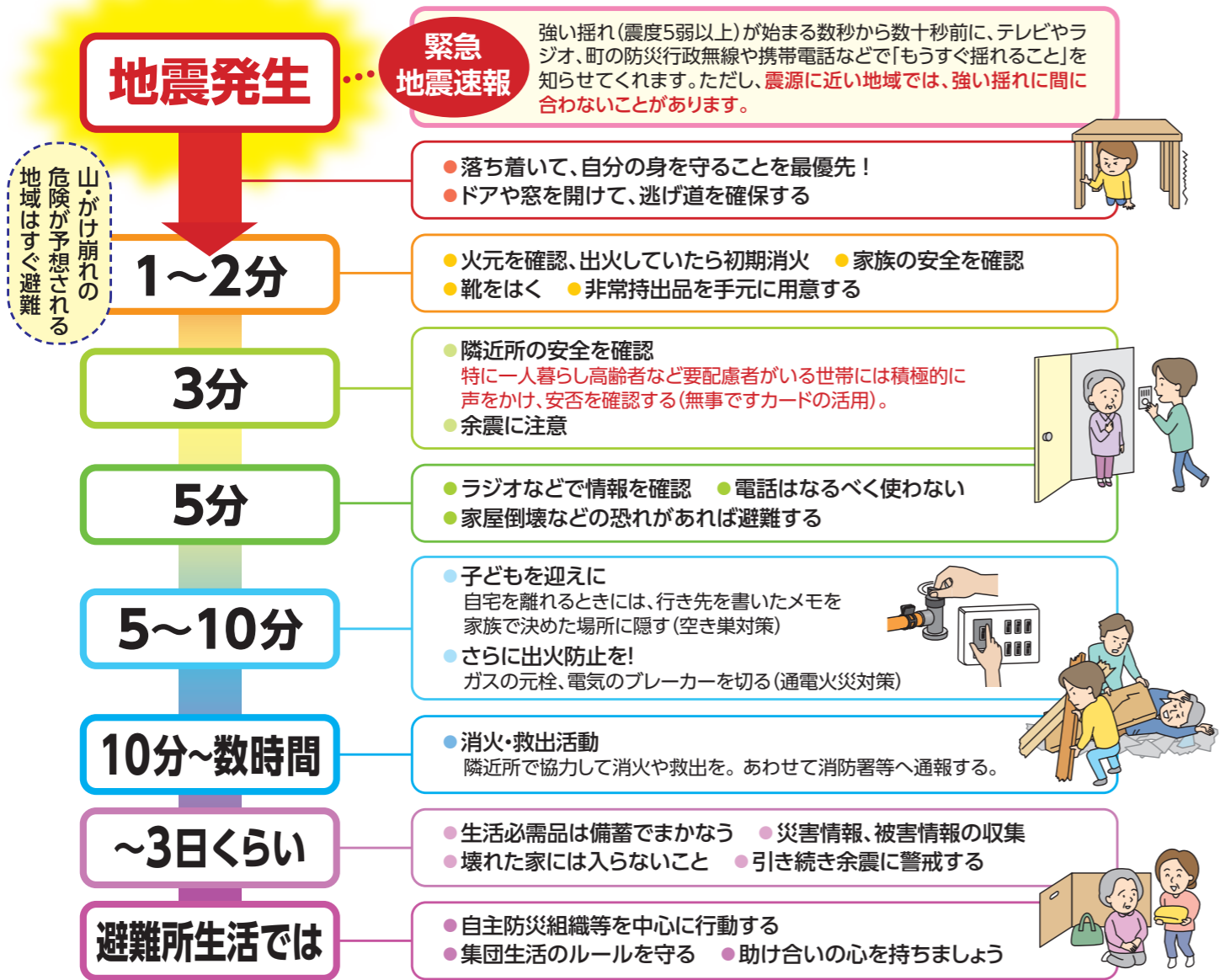


地震に備えて

▶地震が起きたらどうする？

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいもの。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。地震が起きて「あわてず、落ち着いて」行動するために、以下の行動パターンを覚えておきましょう。



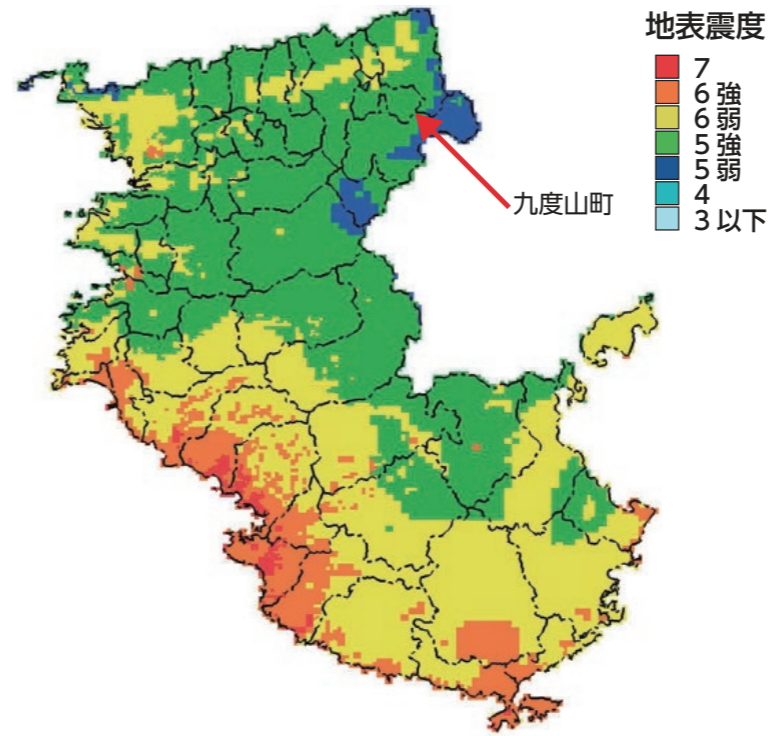
▶震度階級表

震度 4	● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。 ● 据わりの悪い置物が、倒れることがある。	震度 6弱	● 立っていることが困難になる。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度 5弱	● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 6強	● はわないと動くことができない。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 ● がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。
震度 5強	● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。	震度 7	● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが増える。

▶予想される震度分布図

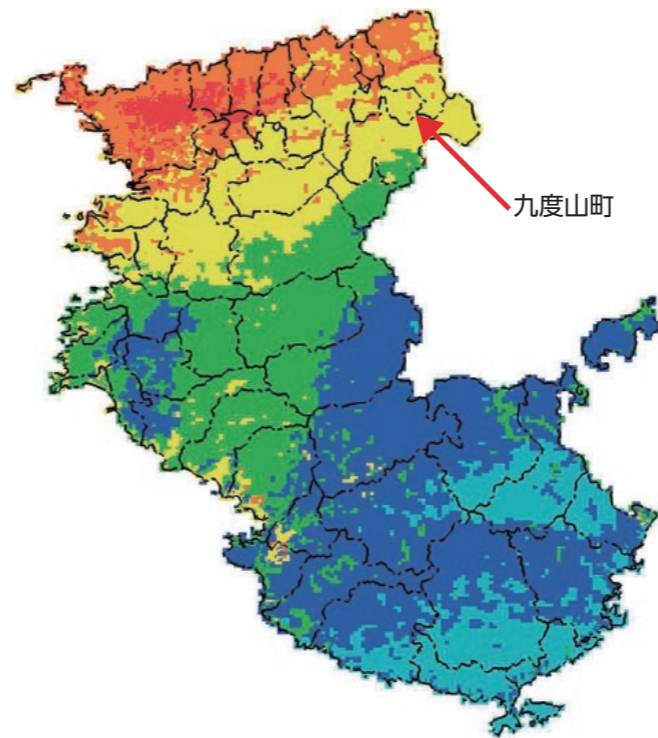
●東海・東南海・南海地震3連動地震

駿河湾(静岡)から四国沖にかけての海底を震源とし、東海・東南海・南海地震が連動して起きた場合に想定される地震分布。



●中央構造線直下型地震

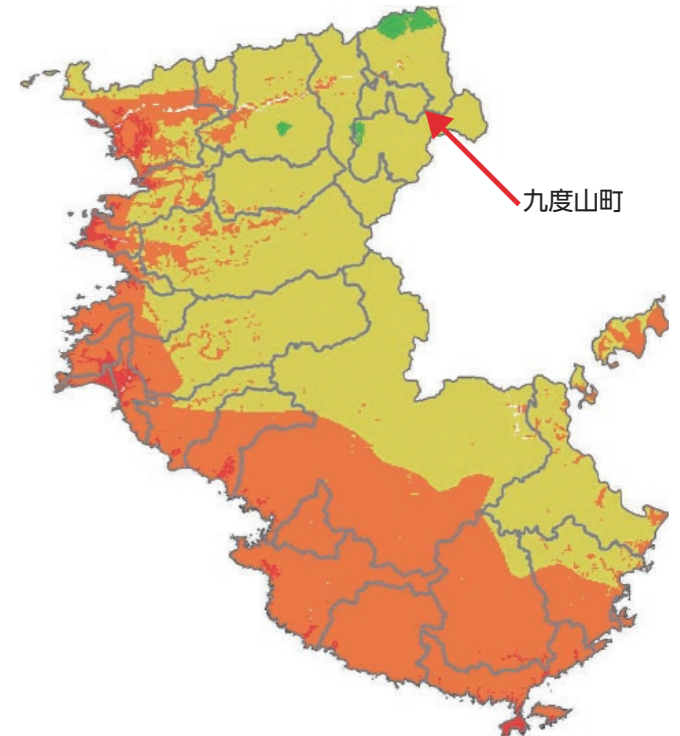
和歌山県北部に横断する中央構造線断層帯が引き起こす直下型の地震分布。



引用：県民の友(平成25年9月号)

●南海トラフ巨大地震

東海・東南海・南海地震の震源域よりさらに広域で地震が連動した場合の最大クラスの地震分布。



▶さまざまな状況下で身を守るには…

▶寝室で地震が…

ベッドの下に入るか、布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところで身を伏せましょう。



▶浴室・トイレで地震が…

あわてて飛び出さず、ドアを開けて出口を確保しましょう。

▶学校・塾で地震が…

教室では机の下などに隠れましょう。体育館や運動場では真ん中に集まってしゃがみましょう。

▶職場で地震が…

OA機器やキャビネットなどから離れ、頭部を保護して机の下に隠れましょう。



▶電車・バス内で地震が…

姿勢を低くして頭部をカバンなどで保護しましょう。

▶山・丘陵地で地震が…

まずは、落石から身を守りましょう。がけや急傾斜地などには近づかないようにしましょう。

